

天文展示と天文台

自然館の天文展示と天文台により、来館者は惑星の表面、隕石の構成、銀河全体など、いつもは非常に遠くにあるものを間近に見ることができる。

展示エリアには太陽系の惑星の大きなジオラマがあり、その外観と比較寸法が見られる。中央には鉄隕石、石質隕石（石でできた隕石）、石鉄隕石（鉄、ニッケル、ペリドットでできた隕石）などの様々な隕石のサンプルが展示されている。訪問者が持ち上げてその驚くべき重さを体感できる石もある。

三瓶山は街の灯りから離れているため夜空を見るのにぴったりの場所だ。自然館の天文台は公共施設で、来館者が使用できる 600 ミリ大型望遠鏡が 1 台と 200 ミリ大型望遠鏡が 4 台ある。自然館スタッフによる定期天体観察会も毎週土曜日と、ある一部の祝日に行われている。